

ひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
しひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
もひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
とひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
びともしひともしひともしひともしひともしひともし  
しひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
しひともしひともしひともしひともしひともしひともし  
もしひともしひともしひともしひともしひともしひと

第384号

發行  
淨土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086) 420-1311



どこに向か<sup>む</sup>つて



カット：本多紘子

謹つつしんで新年のお慶えきびを申し上げます。1 昨年さくねんから新型しんがたコロナ騒動そうどうに始まり、新型しんがたコロナ騒動そうどうで過ぎ去さった2 年間ねんかんでしたが、皆様みなさまお元氣げんきでしようか。人と人ひととひとの交流こうりゅうがあまり出来できず、大切たいせつな忘れ物わすれものをしたような寂さびしさを感じかんじしましたが、今年ことしはコロナも治おさまって欲しいですね。

去年は1年延期えんきしていた東京オリンピックが開催かいさいされ、多くの金メダルを日本人選手が獲得かくとくしましたが、コロナ感染予防かんせんよぼうのために無観客試合となり、盛り上がりが今ひとつのように感じました。

愚僧はスポーツのテレビ観戦が大好きですが、昨年は投打の「二刀流」で大リーグで大活躍したエンゼルスの大谷翔平選手（27）が11月18日、昨期のアメリカン・リーグの最優秀選手（MVP）に選出されて、とても嬉しかったです。日本選手ではイチロー（マリナーズ）選手以来2人目で、本当に立派です。怪我也有り、順調ではなかったが忍耐と努力を惜しまず、いろいろ助けて下さった方々に感謝の気持ち忘れずに頑張る姿に、アメリカ人も感動し素晴らしい青年です。

素晴らしいと言えば、プロ野球オリックスのエース、山本由伸投手（28）も上げたいです。今シーズン18勝5敗、防御率1.39と大活躍し、チームを1996年以來のパ・リーグ優勝に導きました。10勝以

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

上はプロ5年目で初めてですが、最多勝、最優秀防御率、最多奪三振などの投手タイトルを獲得し、シーズン後には最も優れた先発投手に贈られる「沢村賞」にも選ばれました。山本選手は岡山県備前市出身で、宮崎県の都城高校からオリックスに入りました。東京五輪では日本代表の中心選手として金メダルにも輝きました。岡山県出身の人が頑張ってくれるのは、県民にとって本当に嬉しいことです。

スペインのウエルバで行われていたバドミントンの混合ダブルスの試合で12月18日、倉敷出身の山下恭平（23）選手が篠谷奈留選手と組んで3位となり銅メダルに輝きました。水島工高のときにも全国大会で上位入賞していたので、これからの活躍を期待したいものです。

さて、地球温暖化が叫ばれて久しいが、私たちの便利で快適な生活を目指せば目指すほど、地球の生態系が壊れ、人間だけでなくありとあらゆる動物や植物を絶滅させると言われ、恐ろしいことです。

『仏遺教經』に「もし諸の苦惱を脱せんと欲せば、当に知足を觀ずべし」とあり、さまざまな苦惱くのおうから脱却だつぎやくしたいと願うのなら、まさに足たるを知ることが大切であると述べられているのです。足たることを知らない人たちが増えて、便利べんりさと快適かいてきさを追求ついきゅうしているのです。昨日よりも今日の方が豊かであり、明日はさらに豊かでなければならぬという我々の自意識じいしきが問題だと京都大学佐伯啓思名誉教授も語っています。科学という名において経済市場を動かし、政治力によつて、より多くの富とみを、より多くの自由を、より長い寿命じゅみようを、より多くの快樂かいらくを求める近代人の欲望よくぼうこそが問題だとも指摘してきされています。

人間は自然を改変するだけでは事足りず、AIや遺伝子工学、生命科学、脳科学等によつて、我々を改変しようと突き進む。これらの新しい技術によつて一層の自由や富や寿命を得ようとしているのです。本質的に有限で「死すべきもの」である人間が、無限で「永遠なるもの」を願っているように見えます。人間が人間の分限を超えての欲望は、何もかも滅びに近づくとしか思えません。合掌（奥原 曇龍）

『人間にんげんよどこに向むかつて歩あゆむのか  
幸しあわせ求もとめて欲よく望ぼうむき出だし』  
どんりゅう



カット：  
奥原 綾

## ともしび説法

日時・一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時まで。

『元旦説法・『歎異抄（たんにしょう）に学ぶ』

場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、  
お寺についてもっと知りたい方

心光寺

倉敷

検索





## お釈迦様ものがたり ⑥

お釈迦様がさとりを開かれた5〜6年後の40歳頃、故国のカピラ城に第一回目の訪問をした際に、多くの釈迦族の子弟が出家したように仏伝に書かれています。

その内の一人にラーフラ（羅睺羅）がいます。ラーフラは、釈迦族の王子であつたお釈迦様29歳の時に、ヤソダラ（耶輸陀羅）妃との間に生まれた男子です。お釈迦様は学業を終えた20歳頃に王子から太子となつて、結婚をされ10年後に太子が授かりました。

インド一般の風習では、学業を終えた場合には結婚することになっています。そして国王などの上流階級では、王妃も一人だけではなかつた。お釈迦様の場合もヤソダラだけでなく、ゴビーやミガジャーなどの三人の妃があつたとせられています。ラーフラを産んだのはヤソダラ妃です。お釈迦様は若い頃には身体が弱かつたようで、子供もラーフラがようやく授かつたのです。

釈迦族の王であるスッドーダナ（浄飯王）は、太子であるお釈迦様に子供が生まれ、後継ぎが出来たと大変喜ばれました。しかし、お釈迦様は子供が生まれたことをあまり喜ばませんでした。出家するためには、後継ぎがないと出家できませんが、可愛い子供がいると愛情が湧き、出家の心が鈍るので、お釈迦様は男子出生の報を聞いたとき「困つたことだ、ラーフラ（障碍）が生まれた」と言つたので、その名をラーフラ（障碍ある者）と名が付いたと言われています。

故国を尋ねたお釈迦様に、ヤソダラ妃は自ら会いに行こうとせず、ラーフラに貴方のお父さんが帰っているの「遺産を下さい」と申し出させます。するとお釈迦様は、ラーフラに「本当の心の財産をあげる」と言いながら、ラーフラを出家させました。国王には国王の、皇族には皇族の深い悲しみが尽きないので出家させたのです。合掌（奥原曇龍）



12月4日 心光寺本堂にて世良家法要

## ともしび法話

『明けまして南無阿弥陀仏』

新しい年が今年もやってきました。皆様お元気でしうか。新型コロナウイルスのオミクロン株にも負けず、元気で一年間を過ごしたいですね。お寺の説法にも気軽に参加下さい。『今から、ここから寺参り』合掌 心光寺坊守（ぼうもり） 奥原 博子

気ぜわしい師走に入りました。『ともしび』に「どんな条件があれば幸せか」とありましたが、我が家は夫と夕食を共にする姿です。夫の「ご馳走様」が嬉しいのです。 倉敷市黒崎 早瀬小夜子

夫が亡くなってから1年。一人暮らしの不安が大きくなりましたが、週に一度は息子が助けに帰って来てくれてます。心配ごとは尽きませんが、前向きになろうと頑張っています。曇龍先生も活躍下さい。 岡山市中区 津田 祥子

生きることは、老いること・病むこと・死ぬことを抱えながら歩むことですね。今年も自分らしく悩みながら生きていきたいです。 倉敷市中庄 山下須磨子

元旦や孫とも会えず寺参り 心を満たすとしび説法 田辺多恵子

## ともしび説法

日時・一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時まで。

元旦説法・『歎異抄（たんにしよう）に学ぶ』

場所・倉敷市早高四二六 心光寺（しんこうじ）本堂にて

電話・（086）420-1311 駐車場有り

（宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。）

○ともしび説法・お寺の行事予定

二月 八日（火）・午後一時半から午後四時・早高の本堂。  
三月 九日（水）・午後一時半から午後四時・早高の本堂。  
四月 十七日（日）・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。（賛助会員募集中）。  
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。  
会員には、ともしびを郵送させていただきます。（お電話下さい）



## いのちの詩

真つ白な新しい年が来た  
たつた一度の人生だから  
力いっぱい思い切り生きたいと  
常に願いつつ挫折の繰り返し  
天を見上げながら大粒の涙  
時には冷静 時には情熱  
それでいいがなと今年が始まる



カット：吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。  
倉敷市 岡崎様 3千円  
早島町 平松様 岡山市 津田様 4千円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人（しんらんしょうにん）です。  
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗（じょうどしんしゅう）心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「384号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦